



# 薬を調べる【改訂6版】

平成 18 年 12 月 19 日発行

令和 7 年 4 月 1 日 6 訂版

横浜市中心図書館調査資料課「調査のミカタ」シリーズ

薬は、大きく 2 種類に分けられます。

医療用医薬品（処方薬）…医師の処方箋に基づいて購入する薬

一般用医薬品（市販薬）…処方箋に基づかない販売が認められ薬局やドラッグストアで購入できる薬

また、医薬品には有効成分に対して付けられる一般名と、製品に対して付けられる販売名（商品名）があります。

これらの薬を調べるために参考となる資料とインターネットサイトをご紹介します。

## 1 医療用医薬品（処方薬）を調べる

### 📖『JAPIC 医療用医薬品集 1 巻、2 巻』

（日本医薬情報センター／編集、日本医薬情報センター、毎年刊行）

医療用医薬品のほぼ全品目を収録。添付文書\*<sup>1</sup>をもとに、効能・効果、用法・用量、使用上の注意（禁忌・副作用）などを掲載しています。

4 階・医療情報・499.1

### 📖『治療薬マニュアル』

（矢崎義雄／監修、医学書院、毎年刊行）

最新の添付文書情報を元にまとめた医薬品集。各薬品の特徴、効能、用法、注意・禁忌事項、動態、構造式などが記載されています。臨床解説も充実しており、医師・薬剤師の定番資料です。

4 階・医療情報・499.1

### 📖『今日の治療薬』

（伊豆津宏二／編集、南江堂、毎年刊行）

専門医による薬効群ごとの解説に加え、表形式の便覧で各薬品の特徴、効能、用法、注意・禁忌事項、動態、小児用量などが記載されています。こちらも医師・薬剤師の定番資料ですが、一般の人にもわかりやすい内容です。

4 階・医療情報・499.1

### 📖『治療薬ハンドブック 薬剤選択と処方のポイント』

（堀正二／編集、じほう、毎年刊行）

薬効ごとに治療薬の使用についての解説や各薬剤の比較・分類があります。同一薬効薬剤間の比較に重点が置かれ、薬剤の便覧に対応する OTC\*<sup>3</sup>の記載があります。

4 階・医療情報・499.1

### 📖『ナースのためのくすりの事典』

（細谷治／編集、へるす出版、毎年刊行）

看護学生、看護師向けに書かれた資料ですが、一般の人にもわかりやすい内容になっています。薬ごとに用法、副作用、使用上の注意のほか「患者・家族への指導のポイント」等が明記されており、薬を使用する上でのポイントがコンパクトにまとめられています。

4 階・医療情報・499.1

#### 記号について

📖→図書

🌐→インターネットサイト

3F PC リサーチコーナーにインターネットに接続できるパソコンがあります。

\***階数・ラベルの記号**は、中央図書館の中で資料のある場所やコーナーを示しています。

## 📖 『ジェネリック医薬品リスト 商品名・一般名からさがす』

(医薬情報研究所／制作、じほう、毎年刊行)

後発医薬品(ジェネリック医薬品<sup>\*2</sup>)を、先発・代表医薬品名で引けるように表記・配列したものです。なお、歯科用薬剤は掲載対象外です。

4階・医療情報・499.1

### 薬の名前がわからない時は…

## 📖 『JAPIC医療用医薬品集薬剤識別コード一覧』

(日本医薬情報センター／編集、日本医薬情報センター、毎年刊行)

薬剤の本体や包装材にある識別記号(数字やアルファベットからなる。識別コードともいう)から、製品名(会社名)、一般名、薬効や規格・剤形などの情報が調べられます。JAPIC 医療用医薬品集掲載の医薬品のうち、添付文書に識別コード・包装コードの記載のある品目を掲載しています。



↑ 識別記号

4階・医療情報・499.1

※ 『治療薬マニュアル』(既出)にも識別コード索引があります。

### 📖 ことば解説

- \* 1 添付文書: 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(薬機法)に基づき、医薬品の使用に際しての必要な情報を提供する目的で薬剤に添付される文書のこと。
- \* 2 ジェネリック医薬品: 先発医薬品の独占的販売期間(特許期間等)が切れた後に発売され、先発医薬品と同じ有効成分で効能、効果、用量・用法が同一の医薬品をジェネリック医薬品と呼んでいます。先発医薬品の独占的販売期間中に有効性や安全性は確率されたと考えられることから、臨床試験等を省略して承認されます。先発医薬品に比べて安価であることが大きなメリットです。

【参考文献】📖 『廣川 薬学大辞典 第5版 普及版』(薬学大辞典編集委員会／編、廣川書店、2013年)

📖 『薬学用語辞典』(日本薬学会／編、東京化学同人、2012年)

## 2 一般用医薬品(市販薬)を調べる

### 📖 『JAPIC一般用医薬品集』

(日本医薬情報センター／編集、日本医薬情報センター、毎年刊行)

国内の薬局薬店で販売されているほとんどの一般用医薬品(配置薬を含む)約10,000品目を、その添付文書を情報源として編集しています。国内の一般用医薬品に関する基本的な資料です。

4階・医療情報・499.1

### 📖 『OTC医薬品事典』

(日本OTC医薬品情報研究会／編集、じほう、隔年刊行)

薬局・薬店で販売されている主要なOTC医薬品<sup>\*3</sup>と新指定医薬部外品約2,200品目を収録しています。収録数は少ないのですが、薬の専門家が消費者に説明することを目的に、カラーイラスト、写真を多く用いて分かりやすく編集されています。索引が豊富で症状別索引があるのが特徴です。

4階・医療情報・499.1

### 📖 ことば解説: OTC医薬品とは?

- \* 3 OTC 医薬品: 「over the counter」(薬局等のカウンター越しに購入できる)の略で、薬局やドラッグストアで医師による処方箋なしで購入できる薬のことです。そのうち、医療用医薬品として使用されている有効成分をOTC医薬品に転用(スイッチ)した薬をスイッチOTC薬と呼びます。

【参考文献】📖 『廣川 薬学大辞典 第5版 普及版』(薬学大辞典編集委員会／編、廣川書店、2013年)

### 3 薬の価格（薬価）を調べる

\*1~2でご紹介した各資料でも薬価の確認ができます。

#### 📖『レセプト事務のための薬効・薬価リスト 付禁忌・併用禁忌』

（じほう、毎年刊行）

レセプト（診療報酬請求明細書）業務向けに薬価基準収載医薬品の薬価、効能・効果、用法・用量、禁忌・併用禁忌、保険の扱い(厚生労働省保険局通知の概要)を掲載しています。

4階・参考書・499.1

#### 📖『保険薬事典Plus 薬効別薬価基準 適応・用法付』

（薬業研究会／編集、じほう、年2回刊行）

薬価基準収載医薬品を薬効ごと一般名順に掲載しています。適応・用法情報、生物由来製品および特定生物由来製品の区別もわかります。

4階・参考書・499.1

#### 📖ことば解説：薬価とは？

保険診療に使われる薬の価格は「薬価」として、薬剤ごとに価格が定められています。新薬が承認された後、厚生労働省によって価格が定められ、「薬価基準」と呼ばれる価格表に収録されます。

薬そのものの価格はどの薬局でも変わりません。しかし、実際の会計には「調剤技術料」や「薬学管理料」など様々な料金が加算されます。同じ薬をもらっているのに、薬局によって価格が変わるのは、「調剤技術料」や「薬学管理料」などが薬局によって異なる場合があるためです。

【参考文献】📖『最新医療費の仕組みと基本がよ〜くわかる本 複雑な医療費の仕組みをすっきり解説！ 第5版

（図解入門ビジネス）』（伊藤哲雄／編著 森田仁計／編著、秀和システム、2024年）

### 4 漢方薬を調べる

漢方薬については1、2で紹介した『JAPIC医療用医薬品集』、『JAPIC一般用医薬品集』でも調べることができます。また、以下の資料でも確認できます。

#### 📖『漢方294処方生薬解説 その基礎から運用まで 第2版』

（根本幸夫／監修、じほう、2021年）

日本において一般用医薬品として承認された漢方処方（294種）に使用されるすべての生薬について、産地、成分、飲み合わせによる効果等が解説されています。

4階・参考書・499.8

### 5 副作用など

副作用は添付文書で確認ができます。1、2で紹介した各資料でもご覧いただけます。禁忌事項や飲み合わせについては、次の資料が参考になります。

#### 📖『投薬禁忌リスト』

（医薬情報研究所／編集、じほう、毎年刊行）

医療用医薬品で、添付文書に警告や禁忌等の記載のあるものを収録し、禁忌、原則禁忌、併用禁忌、原則併用禁忌、重大な副作用等を記載しています。巻末には、医薬品と飲食物・嗜好品等との相互作用の一覧があり、服用時の注意として参考になります。

4階・医療情報・499.1

#### 📖『基礎からわかる妊婦・授乳婦のくすりと服薬指導 第2版』

（山中美智子／編著、ナツメ社、2022年）

一般的に治療でよく使用される薬が、妊婦や授乳婦に対しても使用できるかどうか、疾患別にわかりやすくまとめた一冊です。各種分類法による評価から薬の安全性を確認できる「薬剤一覧」も掲載されています。

4階・医療情報・499.1

**薬を調べる**

①厚生労働省 医薬品・医療機器

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/iyakuhin/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/index.html)

②独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 一般の方におすすめのコンテンツ

<https://www.pmda.go.jp/pnavi-01.html>

③一般財団法人 日本医薬情報センター iyakuSearch

<https://iyakusearch.japic.or.jp>

④一般社団法人 くすりの適正使用協議会 くすりのしおり

<https://www.rad-ar.or.jp/siori/index.html>

⑤日本 OTC 医薬品協会 おくすり検索

<https://search.jsm-db.info/main2.php>

⑥日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 かんじゃさんの薬箱

<https://www.generic.gr.jp>

⑦日本漢方生薬製剤協会作成 一般用漢方処方の確認票

<https://www.nikkankyo.org/kampo/kampo2.htm>

**薬の調べ方を探す**

①国立国会図書館リサーチ・ナビ

・ 医療用医薬品について調べる

[https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/stm/post\\_439](https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/stm/post_439)

・ 一般用医薬品（市販薬）について調べる

[https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/stm/post\\_438](https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/stm/post_438)

・ 漢方薬、生薬について調べる

[https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/stm/post\\_400125](https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/stm/post_400125)

このリストは、特定の薬・団体などをすすめるものではありません。

また、診断・治療・薬などの判断については医療機関におたずねください。

中央図書館では、みなさまの調査研究・問題解決のお手伝いをしています。  
お気軽に各階カウンター・電話・ホームページの申請フォームにてお問い合わせください。

電話：045(262)0050

ホームページ：

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/shirabemono/referance.html>

横浜市中央図書館

